

平成30年度 取組目標

1 校務分掌（その1）

分掌名	実践目標	具体的な取組み方法
教務	①校務支援システムの活用 ②読書活動の推進 ③積極的な学校行事等の情報提供	①校務支援システムの運用をよりスムーズに行い、効果的な活用ができるよう、マニュアル整備など職員のサポートを行う。 ②「朝の読書」活動を中心とした読書活動を推進し、生徒の図書室利用度を向上させる。 ③学校行事や式典、表彰等について、速やかに報道提供を行う。
研究企画	生徒が学校生活に意欲的に取り組めるように授業研究とTSPミーティングの充実をはかる。 ①道徳的、人権教育的視点を取り入れた授業研究の実践 ②生徒主体の授業の実践 ③TSPミーティングの充実	①授業研究に道徳的視点あるいは人権教育的視点を取り入れ、生徒の感情を尊重しながら、人権感覚を養わせる授業を目指す。 ②教材等や授業展開を工夫することによって、生徒に関心を持たせ、活発かつ円滑な生徒主体の授業（アクティブラーニング）の実現を目指す。 ③議題の精選に努め、TSPミーティングの充実をはかる。
進路指導	「進路意識の高揚・希望進路の実現」に向けて以下の項目について実践する。 ①受験事業所・受験校の確保 ②各種のガイダンスやHR活動（進路指導関係）の充実 ③面接指導・適性検査対策を十分に行う	①企業訪問・学校訪問を積極的に行い、新規開拓も含めて受験先の確保に努める。 ②生徒の希望進路を考慮し、業者と連携をとりながら、各種のガイダンスを計画・実施する。また、生徒の実態にあわせて、進路意識の高揚につながるような進路情報を適宜提供する。 ③面接カードを利用し、複数の先生に面接指導していただく。また、一般常識&SPI対策問題集を利用し、HR担任と連携しながら適性検査対策を実施する。
生徒指導	①『挨拶の励行・服装の整備・時間を守る・清掃をきちんとする』等、基本的な生活習慣に対する意識の徹底と確立を図る。 ②生徒が安全で安心して学べる学校であること。そして、地域の人々からも信頼される学校であるように努めていく。 ③道徳教育を継続し、相手を思いやる気持ちや感謝する気持ちが育めるよう努めていく。	①朝の校門指導を継続して行い、挨拶・遅刻・服装についての指導を行う。教員も積極的に声かけを行う。 ②いじめや盗難が発生しないように学年団・担任・教育相談部等と連携を図り、防止に努める。 いじめ防止委員会の充実を図る。 ③各種講演会・安全教室を実施し、思いやりの心を育てることと、自己管理能力を向上させる。
人権・同和教育	①生徒の人権感覚を高め、人権課題を主体的に解決していく姿勢を養う。 ②教職員の人権に関する知的理解を深めるとともに、人権感覚を養う。 ③保護者に対する啓発を積極的に行う。	人権・同和教育HRの教材・内容の充実に努める。先進校や他校の教材・指導案を参考にしながら、教材や内容の更新・充実に努める。生徒向け人権だよりを発行して、人権意識を高める。 研究会・現地研修会等の案内を積極的に行い、強く参加を呼びかける。より身近な話題を取り上げた教職員向け人権だよりを定期的に発行し、人権感覚の養成を図る。第三次取りまとめを参考に、各教科の授業において、人権教育的な視点を取り入れてもらう。 人権だよりを通して、人権啓発を行う。PTA総会で人権講話を行う。研究会・研修会等の案内を積極的に行い、参加を呼びかける。
特別活動	様々な学校行事（集団活動）、部活動を通じて、未来を支える健康・体力・コミュニケーション力を伸長させるとともに礼節をわきまえた社会に貢献できる人材育成を図る。	①部活動を通しての人間形成と各種大会での上位入賞 部活動での地域貢献活動 ②志度高祭をはじめ多くの行事に生徒一人ひとりが主体的に参加し、より計画的な活動ができるよう指導・サポートする。 ③エコ活動やボランティア活動に自主的に参加できる生徒の育成と地域への働きかけ
教育相談	①関係者間の連携を密にして、生徒・保護者および問題を持つ生徒に関わる教員のサポートを行う。 ②相談しやすい雰囲気づくりを心がける。 ③現職教育を行う。	①担任または生徒や関わる職員・保護者・スクールカウンセラー間の連携を密にして、学校内外の情報収集・共有に努め、連携してサポートを行う。 ②教育相談便りを発行しスクールカウンセラー来校の日程等を伝える。1年生はSCとのグループカウンセリング、2年生は部職員による個人面談で教育相談的な問題を抱える生徒の早期発見・ケアを行う。 ③特別支援教育の「LGBT」について教職員の研修を行い、共通理解を深める。

2 校務分掌（その2）

分掌名	実践目標	具体的な取組み方法
保健	生徒や職員の健康に配慮し、元気のある学校づくりを目指す。	4～6月、生徒の定期健康診断を行う。 ①各学年において正しい知識を理解させ、関心と責任を持たせる。 1年生：心肺蘇生法の講習会 2年生：歯の健康講話 3年生：青年期のメンタルヘルス ②職員の体力・健康維持に努める。 職員健康診断の実施
総務	①保護者(PTA活動)および地域、同窓会との円滑な関係を維持し、教育諸活動において多面的な協力を得られるよう発信する。 ②校舎・器具・備品等の丁寧な取扱を意識し、公共物を大切に使用することや整頓することの意識を高揚・定着させる。	①関係各位に学校行事等の通知と積極的参加を呼びかける。 ②清掃活動や係活動において、その意識を持たせる。

2 学科

学科名	実践目標	具体的な取組み方法
商業	専門高校としての特色を出し、社会人・学生として恥ずかしくない人材を育てる。	①ビジネスマナーの向上。 ②検定合格率の向上と高度資格の取得。 ③進学先や就職先の充実。
電子機械	基礎・基本を身につけさせ、検定・資格試験や技術・技能の向上に積極的に取り組む生徒を育てる。 また、卒業後は地域の産業界で活躍できる人材を育成する。	①基礎基本の充実。 ②検定・資格取得の向上。 ③ものづくりの技術・技能の向上。
情報科学	高校生として社会に対応できる人間教育を行い、技術・技能の向上に積極的に取り組む生徒を育てる。	①生活習慣の基本を身につけさせる。 ②資格・検定等の受検率および合格率の向上を目指す。 ③就職・進学(電気系・情報系)の幅を広げる。

3 学年団

学年団	実践目標	具体的な取組み方法
3年団	生徒の進路実現	①基礎学力の充実 ②マナー教育 ③面接指導の充実 ④進路決定後の生活指導
2年団	①充実した学校生活の実現 ②資格・検定取得へ積極的に取り組む ③進路意識の向上と実現へ向けての準備をスタートさせる	①学習活動、時間厳守、清掃活動、服装整備、挨拶励行 ②生徒個々の目標や計画を立てさせ、今何をすべきかを考えさせる。 ③計画的な学習活動や情報収集を積極的に開始させる。
1年団	①全員が居心地の良い学校 ②落ち着きのある学校 ③学力の向上	①他人を尊重し、人を思いやる心を育てる。 ②挨拶・服装・清掃・時間厳守の徹底など規範意識を持たせる。 ③検定取得等の高い目標を持ち、計画的に学習する態度を養う。